

7月14日の技術講習会から6日後の20日土曜日、待ちに待った技能試験を受験した。今回はそれまでの経緯とその顛末について、忘れないうちに取り急ぎ寄稿させていただく。

筆記試験合格発表から約2ヵ月間、下表で示す技能練習を続けてきた。各作業に要する時間を細かく分析していないが、早ければいいというわけではなく（雑になって漏れが出るため）、慎重に丁寧にすれば遅くなるという傾向。しかしながら、当初から目指していた①複線図化に5分、②工事に25分、③確認に10分、計40分という時間配分で、時間内に安定して作品が作れるようになったことで自信と余裕がでてきたので安心して受験することができた。最後の不安要因を解消するため試験会場（武蔵大学江古田キャンパス）の下見を4日前に済ませた。

試験当日は9時前に会場に到着したが10時開門ということだった。汗ダラダラの状態のまま門前で待つのは思考能力低下、体力消耗と思い、エアコンの効いた近くのドーナツショップで時間を潰した。勿論、その間に複線図化の最終チェックを行った。

もう汗をかきたくなかったので傘をさしてできるだけゆっくり歩き、試験会場に戻った時には既に10時を過ぎており大勢の受験者が自分の試験会場（教室）を掲示板から探していた。私は間違いたくなかったので、受験番号を示して係員に探してもらった。兎に角受験者数が多いため大学の教室がいくつも使用されていた。1教室40名前後で1テーブルに2人がけだったが、これを想定して机を狭くして練習してきたので全く心配なかった。

10時50分に教室が閉められるので40分にトイレに行き、戻ってからすぐに試験、注意事項の説明が始まり、その後問題用紙の配付（試験開始の11時30分まで開いてはいけない）、支給部材の開梱、長さ、員数確認を行った。その後は事前に調べて分かっていたより試験開始までの待ち時間が長かったため（5分前後）、問題用紙から透けて見える単線図を頭の中で十分に複線図化することができた。

そして、試験開始。待ち時間中に試験問題が予測できたことで全く緊張することなく、頭が真っ白になることもなく、手も止まることなく約27分で工事を完了した。残り13分かけてじっくり確認することができた。実際の試験問題は候補問題#2と同じだった。これは比較的簡単な問題（個人の感想）だったため私にとってラッキー！ 結果として、複線図化に3分31秒、工事完了が26分47秒、確認完了が36分だった。残り4分間も更に確認を繰り返した。あとは練習中に2回あったポカミスが無いことを祈るだけ。8月16日の合格発表を待つのみ。

ということで、これで不合格なら12月の技能試験に再チャレンジすることになるが、まだ半年先なので次のチャレンジを探さなければならない。次回の寄稿では技能試験の結果と次のチャレンジ状況を報告予定。

今回も雑駁な寄稿となりましたが、これが誰かのボケ対策（自己啓発）に繋がれば幸いです。Tnx！

候補問題	複線図化 1回目	複線図化 2回目	複線図化 3回目	通し1回目 (複線図化/完成 /確認)	通し2回目 (複線図化/完成 /確認)	通し3回目 (複線図化/完成 /確認)
# 1	2:36	2:28	3:26	5/25/30	5:45/30/35	5/28/32
# 2	4	2:27	3:23	5/26/30	6:44/29/33	5/26/30
# 3	3	3	4	4/28/35	4:43/27:23/32	5/28/34
# 4	2:39	3:30	5	6/27/30	6:25/30/32	5:30/25:30/30
# 5	3:51	3:37	3:46	5:40/28/31	6:20/30/36	5:25/30/33
# 6	3:18	3:03	4:10	4:30/30/34	5:07/26/30	5:15/28/31
# 7	3:38	3:45	5	6/30/33	6:25/32/37	6:55/34/37
# 8	3:58	3:32	4:05	5/28/32	4:15/25:44/30	5/32/35
# 9	7	3	4	4:22/26/32	4:22/29/32	5:17/29:30/33
# 10	3:10	3:50	4	4/25/29	4:15/26/30	4/28:35/32
# 11	3:17	3:36	3:45	5/25/30	5/26/31	4:10/25/30
# 12	3	4	4:30	5/28/34	4:30/29:30/35	5:10/29/30
# 13	3	3:40	4:10	5/28/33	4:15/26:30/36	3:45/24:30/31

練習結果 (数字は分:秒)



試験会場 (武蔵大学江古田キャンパス)



試験問題 (= 候補問題 # 2)